

第132回 教育研究評議会要録

日時 平成27年10月21日（水）午後1時00分～午後3時05分
場所 第一会議室
出席者 今岡学長，井上理事，小路田理事，角田理事，笠井理事，
柳澤文学部長，林井理学部長，三木生活環境学部長，中島人間文化研究科長，
内田，野村，小林，春本，黒子，三成，出田，上江洲各評議員
列席者 横山学長補佐，小川学長補佐，酒居監事，福田監事，
岩阪総務・企画課長，山下情報管理活用監，小田原国際課長，乾研究協力課長，
西田財務課長，齊藤施設企画課長，藤熊学務課長，木下学生生活課長，
名賀入試課長，秋庭学術情報課長

議事に先立ち，前回の記録確認。

I 審議事項

1. 学内諸規程等の改正等について

(1) 年俸制適用教員の業績評価実施細則（案）について

学長から，資料1により，9月開催の部局長会議での承認後，過半数代表者の意見を照会し，10月16日付けで意見なしの旨回答があったとの説明の上，については承認願いたいとの発言があった。審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

2. 奈良女子大学岡数学研究所の設置について

角田理事から，資料2により設置の趣旨等について説明があり，審議の結果，これを承認し，役員会へ付議することとした。なお，規程に関連して，学則及び奈良女子大学におけるセンター長選任規程の改正の必要があるため，これらの改正時期に併せて改めて審議予定との説明があった。

3. 共催・後援等の名義使用基準の見直しについて

笠井理事から，資料3により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認した。

4. 平成28年度短期留学生受入プログラムの実施について

井上理事から，資料4により説明があり，審議の結果，これを承認した。なお，具体的なプログラム内容は今後計画し，先方大学にプログラムを提示した上，合意書を作成して締結するとの説明があった。

5. 奈良女子大学・奈良警察署連絡会の設置について

角田理事から、資料5により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

6. その他

(1) 経営協議会委員の選出について

学長から、経営協議会委員の学外者である委員6名のうち、平成28年3月31日で任期が満了する5名の後任について、教育研究評議会の意見を聴きたいとの発言があった。ご本人の継続の意志を確認できれば引き続き任命したいとの提案があり、審議の結果、これを承認した。

II 報告事項

1. 第161回役員会について

学長から、9月25日に開催された第161回役員会の審議概要について報告があった。

2. COC+事業について

学長から、資料6によりCOC+事業の採択状況及び本学の採択事業の概要について報告があり、本事業に本学が取り組む重要性について説明があった。地元への就職人数の向上、地域科目群新設、センター新設等により全学体制で早急に取り組む必要があるため協力依頼があった。なお、これに対して評議員から、本学の奈良県出身学生数が少ないことや県内就職者数、就職先の現況からすると数値目標の達成は大変困難と思われるとの意見とともに、具体的な方策、見通しについての質問があった。学長から、入試への地域枠創設、大学院長期履修の促進、奈良に関する研究の深化、経済界とのつながりの強化など、相当な戦略が必要になるとの説明があり、改めて協力依頼があった。

3. 国大協近畿地区支部会議について

学長から、資料7により10月7日に開催された本会議の配付資料から、平成28年度以降の学部における定員超過の抑制及び選挙権を有する者の年齢が満18年以上に引き下げられることについて情報提供があった。

4. 第3期中期目標・中期計画について

小路田理事から、資料8により9月開催の教育研究評議会で承認後の変更箇所について説明があった。なお、変更後の内容が文部科学省ホームページで公開されているとのことだった。

5. 大学入試改革プロジェクトについて

平成28年度共通政策課題分（入学者選抜改革分）として文部科学省から予算配分予定の大学入試改革プロジェクトについて、学内向けの概要説明の要望を受け、小路田理事から資料9により説明があった。なお、資料に記載の金額は要求額であり、配分額は未定とのことだった。

本学からの要求の背景となった学長への答申内容の説明の上、アドミッションセンター開設、推薦入試やAO入試などの実施枠の増加等を予定しているとのことだった。学長からも、個別学力検査の見方を変えて、大学教育のあり方をどうするか全体の改革となるとの発言があった。

6. 公認心理師の審査スケジュール等について

学長から、資料10により公認心理師の受験資格等について説明があり、対応については文学部長及び生活環境学部長に協力を指示したとの報告があった。関係部局等でカリキュラム整備等の準備を怠りなく行うよう指示があった。

7. 図書資産の実査計画策定依頼他について

井上理事から、資料11により実施内容及び趣旨について説明があり、併せて協力依頼があった。

8. 2020年東京オリンピック・パラリンピック一連携大学地域巡回フォーラムについて

笠井理事から、資料12により周知があり、教職員及び学生の多数の参加について依頼があった。

9. 各室からの報告について

教育計画室及び学生支援室：

角田理事から、文部科学省の補助金事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」のテーマAの事後評価が9月30日にあり、「A」の評価を受けたとの報告があり、担当教員への謝辞があった。

学生支援室：

角田理事及び木下学生生活課長から、国民年金保険料学生納付特例制度に係る申請の取次事務を、文部科学省からの通知等により学生生活課で所掌する手続きを進めることとなった旨報告があった。なお、取次事務を実施の際には、代行事務手数料として1件あたり500円が支払われ、大学の自己収入として受け入れ予定とのことだった。

評価企画室：

井上理事から、第2期中期目標期間における教育研究の実績報告の作成に関し、各学部・各学科の「現況調査表」作成の進捗状況の報告があった。また、卒業生・修了生の学業の成果に関する就職先企業へのアンケート調査を実施するにあたり、各学部・研究科に協力依頼があった。

広報企画室：

小路田理事から、私立女子大学に比べ本学の知名度が低いと入試業者から指摘を受けたとの情報提供があり、大学の認知度を上げる取り組みが必要との発言があった。

10. その他

- ・井上理事から、10月30日（金）16時30分から開催予定の男女共同参画推進のための講演会について周知及び参加依頼があった。
- ・角田理事から、11月1日（日）から3日（火）まで学園祭が開催され、初日の11月1日には併せて平成27年度第2回目のオープンキャンパスが開催されるとの周知が資料によりあり、協力依頼があった。
- ・井上理事から、10月22日（木）14時から開催予定の研究推進プロジェクト経費研究成果発表会について周知及び参加依頼があった。

以上